

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所 1号機における定期安全レビュー（第3回）の実施について

2022年7月4日

東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

当所 1号機（沸騰水型軽水炉、定格電気出力 110 万キロワット）は、1985 年 9 月に営業運転を開始し、「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、定期的（10 年を超えない期間ごと）に定期安全レビュー*を実施しております。

この度、同号機における第 3 回目の評価結果をとりまとめましたので、お知らせします。

今回実施した定期安全レビューは、2012 年 7 月にお知らせした 2 回目の評価に次ぐ 3 回目の評価であり、2011 年 4 月から 2021 年 3 月までを対象期間として評価を行い、保安活動が継続的に改善され、安全性の維持・向上が適切に図られていることを確認しました。

本評価結果を踏まえ、今後も現状の保安活動を実施・改善していくことにより、発電所の安全性・信頼性の向上に努めてまいります。

* 定期安全レビュー

「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」に基づき、原子炉設置者が原子炉ごとに「原子炉施設における保安活動の実施状況」および「原子炉施設に対して実施した保安活動への最新の技術的知見の反映状況」を定期的（10 年を超えない期間ごと）に評価する活動のこと。

以 上

別紙：「柏崎刈羽原子力発電所 1号機定期安全レビュー（第3回）報告書の要旨」

柏崎刈羽原子力発電所 1号機定期安全レビュー（第3回）報告書の要旨

1. 柏崎刈羽原子力発電所 1号機の概要

当所 1号機は、原子炉の型式として沸騰水型軽水炉（定格電気出力 110 万キロワット）を採用し、1985 年 9 月に営業運転を開始した。

これまでの運転実績については、以下のとおり。

	1号機	
	運転開始後累計	今回評価期間累計
累積発電電力量（億kWh）	1,650	34
計画外停止回数（回/年）	0.11	0
累計設備利用率（%）	48.8	3.5

※ 評価対象期間末日（2021 年 3 月 31 日）までの運転実績

2. 評価対象期間

2011 年 4 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日

3. 保安活動の実施状況の評価

「品質管理活動」「運転管理」「施設管理」「燃料管理」「放射線管理及び環境モニタリング」「放射性廃棄物管理」「事故・故障等発生時の対応及び緊急時の措置」「健全な安全文化を育成及び維持するための活動」について、各保安活動の改善状況を評価した結果、改善する仕組みが妥当であると判断した。

主な判断理由は以下のとおり。

- ・自主的に実施した改善が継続していること。
- ・不適合事象や指摘事項等に対する改善活動が実施済みであるか、実施中もしくは計画済みであること。
- ・不適合事象や指摘事項等に対する改善活動が継続していること。
- ・同様な不適合事象や指摘事項等が再発していないこと、もしくは、再発しているが更なる改善が図られていること。

なお、評価期間中に改善を実施した主な内容は以下のとおり。

【品質管理活動】

- ・リスクコミュニケーターの設置
- ・原子力人財育成センターの設置 等

【運転管理】

- ・福島第一原子力発電所の事故対応を考慮した運転体制の強化
- ・コア技術抽出による若年層運転員の人財育成・力量向上 等

【施設管理】

- ・シビアアクシデント対策の実施
- ・施設管理に関わる組織の見直し
- ・異物混入防止対策の充実 等

【燃料管理】

- ・燃料交換機直営運転員の教育・訓練 等

【放射線管理及び環境モニタリング】

- ・ALARA^{*}レビュー会議の開催 等
- ※線量を合理的に達成可能な限り低くすること

【放射性廃棄物管理】

- ・廃棄物低減プログラムの実行 等

【事故・故障等発生時の対応及び緊急時の措置】

- ・国、地方公共団体及び関係機関への通報連絡体制の強化 等

【健全な安全文化を育成及び維持するための活動】

- ・安全と品質達成のための行動基準の定着活動の実施
- ・安全文化モニタリングパネルの開始 等

4. 保安活動への最新の技術的知見の反映状況の評価

保安活動への最新の技術的知見（安全研究成果、国内外の原子力発電所の運転経験から得られた教訓、技術開発成果、耐震新知見情報）の反映状況を評価した結果、原子力施設の安全性を確保する上で重要な設備等について、最新の技術的知見を適切に反映している、反映が実施中である、もしくは反映を計画していることから、安全性・信頼性の維持・向上を図っていると判断した。

また、福島第一原子力発電所事故の教訓を踏まえ、浸水防止対策の強化、電源機能の強化、注水・冷却機能の強化、水素爆発の防止、計測監視機能の強化、緊急時体制の強化等を実施してきており、引き続き、更なる安全性の向上に努めてまいる。

なお、最新の技術的知見の主な反映事項は以下のとおり。

- ・福島第一原子力発電所事故を踏まえた対応
- ・当所 6 号機における不適切なケーブル敷設に係る対応
- ・北陸電力株式会社志賀原子力発電所 2 号機の原子炉建屋内に雨水が流入した事象に係る対応 等

今後も原子炉施設の安全性・信頼性に関する重要な技術的知見が得られた際には、これらの技術的知見を反映すべく継続して自主保安活動を実施してまいる。

以 上